

広報九州



平成23年10月10日

(2011年)

No 1677

九州森林管理局

〒860-0081

熊本市京町本丁2-7

IP電話 050-3160-6600(代表)

<http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/>



北薩署管内の事業所見学するモニターのみなさん＝利用間伐事業の現場

国有林モニター会議を開催 九州各地から21人が参加

9月28日、北薩森林管理署管内の嶽山国有林(出水市)および新栄合板工業株式会社(水俣市)において、国有林モニター会議を開催。九州各地から21人にご参加いただきました。

午前中は、北薩森林管理署管内の概要説明があり、その後、嶽山国有林内の利用間伐事業実施箇所を見学。作業道ではハーベスタによる伐倒・造材作業のデモンストレーションを見学し、初めて見る高性能林業機械の作業風景に驚きの声が上がりました。

昼食の時間を利用し、九州の森林・林業や再生プランの概要について説明を行い、午後からは、新栄合板工業株式会社において合板加工などに関する説明を受けた後、工場見学を行いました。材をかつらむきにして単板に加工する機械や、単板に接着剤を塗り熱圧する機械などが稼働している様子を、参加者は興味深げに見学していました。

当日は、現場や工場内、さら

に移動のバスの中でも活発な質問が行われ、大変短い時間ながら充実したモニター会議となりました。参加者からは、「実際に機械で木材を処理している所を見られて大変興味深かった。」

合板工場では、地元への経済効果や雇用への好影響など、成果を知りうれしく感じた」など、さまざまなご意見・ご感想をいただきました。今後とも国有林モニターの皆さまを初めとして、広く森林・林業に関する情報の発信や国民からの意見の聴取に努めていきたいと思っております。

(担当 企画調整室)



北薩森林管理署管内の概要について説明を聞くモニターのみなさん＝北薩署



山頂からは旧田野町と遠くは宮崎市内が一望できる



事務所から見上げた鰐塚山（上）山頂の様子・（下）治山工事堰堤

田野町のシンボル 「鰐塚山」11118 ㍎

田野・屋敷合同森林事務所の南側にそびえる鰐塚（わか）か山は標高11118 ㍎、宮崎市（旧田野町）、日南市（旧北郷町）、三股町の境に位置する鰐塚山系の最高峰です。古事記に登場する、海神の国を訪れた山幸彦を地上へ送った鰐（わに）の塚が名称

の由来と云われています。田野町側から尾根伝いの登山道では、アカガシ、タブノキなど照葉樹林を特徴づける樹種の他、イワザクラなど鰐塚を南限とする植物も見られ、新種も発見されています。頂上は、天気の良いれば綾の大森岳や佐土原町方面まで一望できる絶景スポットです。山頂まで舗装道路も敷かれており車での登頂も可能です。

鰐塚山は、田野町のシンボルでもあり、さまざまな面で人々の生活と関わっています。夏の湿った東風は周辺に年間3000㍎の雨をもたらし、日照・土壌条件が加わり山麓部ではスギの生育が著しいです。冬の乾いた西風は凍てつく鰐塚おろしとなり、大根を干すやぐらの組立作業が冬の風物詩となっています。

県民にとっても重要な

山で、地勢を活かし各アレビ・ラジオ局のアンテナや官公庁の防災無線が設置され、宮崎県の

人口密集地域の大半をカバーしています。そんな鰐塚山にとって忘れられない出来事が、平成17年9月に来襲した台風14号です。4日間で1000㍎を超える降雨により発生した大規模な山腹崩壊は、周辺を一変させました。防災と山の復元を目的に治山事業が進められ、崩壊跡地に建つられた数々の治山ダムは、見本市さながらの様相です。

緑の復元へ向け「宮脇方式」を参考にした広葉樹の植林も試験的に取り組まれています。登山口付近の道路沿いに解説板があるので、こちらも是非ご一読ください。

登山αを楽しみたいその貴方、秋の休日を澄んだ空の鰐塚山で過ごされてはいかがですか。

市房山で吉・球磨自然観察会を開催

【熊本南部森林管理署】講師に環境省希少野生動物植物種保存推進委員の乙益正隆氏を迎え、「市房神社周辺で見られる植物」と題し、市房杉で有名な球磨郡水上村の市房神社までの表参道を散策する「人吉・球磨自然観察会」を行いました。当地方でしか生殖していない珍しい植物と球磨地方の民族的な風習も交えた説明があり、参加者は興味深く聞き入っていました。当日は、60人の参加者で集合した時はあいにくの小雨模様で雨具を身につけての散策となりましたが、市房神社での昼食時には青空も見え始め最後まで全員元気づいた散策を堪能しました。



観察会を終え参加者全員で記念撮影＝熊本南部

市内の中学2年生が職場体験

森林GISで森林調査を行う

熊本市立立陵中学校および北部中学校からの依頼を受け、「ナイストライ事業」（職場体験学習）が9月6日～8日までの3日間行われ、中学2年生の生徒9人（京陵4人、北部5人）が森林管理局で職場体験をしました。

この事業は、「心身ともに大きく成長する中学生の時に、地

域や自然の中で職場体験などのさまざまな体験活動を通して、子どもたちの勤労観・職業観や感謝する心などの豊かな心をはぐくみ、『生きる力』を育成することを目的に中学2年生を対象に取り組まれているものです。

1日目は、熊本市の小萩国有林で森林GISを活用した森林調査（測量）を実施。局でパソ



森林GISを体験し森林調査をする中学生

コン処理をし、面積を求めるな

どの体験をしました。

2日目は、南阿蘇の外輪山に位置する大野国有林で、国有林の役割や自然観察などを体験。

3日目は、森林管理局で九州国有林の特徴や国有林の仕事について学んだり、広報紙作成に取り組み、3日間の職場体験学習を終えました。

生徒から「あいさつの大切さを感じました。働くことの大変さを学び、両親へ感謝の気持ちが湧いてきました。将来、このような職業に就きたいと思います。明治30年代から鯉業の創業が始まり村の経済を担っていました。鯉節の製造には豊富な薪と水が不可欠であり本村の山林と豊かな水資源のおかげで鯉業が村一大産業に発展しました。特に琉球松は、鯉節の燻製にもっとも適していると言われており、本村の山林の7割は琉球松で、村木にも指定されています。

渡嘉敷村の森林と展望

本村は沖縄本島の県都那覇市の西方32kmに20余りの島々からなる慶良間諸島の中の最大の島が渡嘉敷村です。無人島を含めた村の面積は1920㏎で民有林面積は1715㏎、国有林面積6.3㏎（不要存置林野）であり村内の面積に占める森林率は89%となっています。そのうち人工林面積330㏎であり人口林率は19%で県平均の14%より高い。人工造林の推進及び住宅周辺の森林保全整備を積極的

に行い、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、重視すべき機能に応じた整備を行う観点から、森林を「水土保全林」「森林と人の共生林」「資源の循環利用林」に

区分して目的に沿って育成単層林施業・天然林施業を目的に実施し、望ましい森林資源の姿に誘導するよう努めています。



沖縄県 渡嘉敷村 村長 昌茂 さん

我が村は面積が狭小の割に山が高く森林面積は広い、そのため水資源が豊富です。琉球王朝時代には沖縄本島南部地域に生活用の薪を長い間移出していた。

また、四方海に囲まれているため生活の糧を海に求めている。また、四方海に囲まれているため生活の糧を海に求めている。



た整備を行う観点から、森林を「水土保全林」「森林と人の共生林」「資源の循環利用林」に

また、四方海に囲まれているため生活の糧を海に求めている。

また、四方海に囲まれているため生活の糧を海に求めている。

また、四方海に囲まれているため生活の糧を海に求めている。



木立て作りに挑戦する児童ら＝鹿児島

す」などお礼の手紙が寄せられました。（担当＝総務課）

広小児童へ森林環境教育

【鹿児島森林管理局】国際森林年を踏まえて、小中学校児童・生徒に、森林の働きや役割、森林の大切さを知ってもらい樹木への関心を深めてもらおうと、9月16日鹿児島市立広木小学校5年生を対象に森林環境教育を行いました。当日は、久保田修流域管理調整官が森林の循環や木材の利用について話をした後、12班に分かれ本立て作りに取り組みました。鋸目が曲がったり釘が木からはみ出たり四苦八苦でしたが、児童らは汗をかきながら「世界に一つの木立て」の完成に大喜びしていました。

芦北高校生7人林業実践体験研修

熊本県が地域林業実践体験推進事業を委託している水保芦北森林組合の依頼で、熊本県立芦北高等学校林業科2年生7人を対象に監物台樹木園において研修を行いました。

はじめに、同校の先輩である迫口親経理課長が「先輩のほなし」として、就職してからの国有林の移り変わりや職場環境、業務内容などについて話をされ

ました。その後、広報主任官が「国有林の役割と森林管理局の組織」について説明。

午後からは、樹木園内の樹木について、構造や特徴などの説明。生徒らは真剣な表情で樹木を観察していました。

最後に研修生から、「樹木の特徴がよく理解でき、楽しかった」などの感想が寄せられ、体験研修を終了しました。

と褒めてくれた事がとても嬉しかった事を覚えている。その後、故郷を離れて地方公務員の土木技術吏員を拝命して、山林の道路測量に携わった。新婚後間もなく単身生活となるが、山で新鮮な空気を思う存分吸い、単身生活の心身を癒してくれた森林がとても大好きでした。



大藪 良一さん



退職後は平成

4年度鹿児島県の森林インストラクター認定第1期生として資格を取得。さらに平成6年度緑化活動推進員を委嘱されました。今後、国有林事業などの活動に役立てばと思います、今回、モニターへ応募しました。

少年期の頃、自宅は豆腐製造を両親が営んでいたもので、日曜日になると母から弁当を作って貰い、終日山林で燃料となる焚物取りをした。焚物は父が手で取りに来て、疲れただろう

山への想い

自然や生物を愛する心、あわせて親孝行の精神も大切との思いから緑の少年団の教育に取り組んでいます。

私の町では、毎年、恒例の二日市商があり、街頭で緑の少年団と緑の募金活動やチラシ配布を15年行っています。

また、地区の植樹祭にも積極的に参加しました。同町の鎮守の杜の参道や運動公園周囲のサクラの木は、私が在職中に植樹をしました。15年以上経った現在、桜の花が咲き乱れ、地域の方々の憩いの場となっています。

跡地に再び植林を行う循環的な



迫口親経理課長から話を聞く生徒ら＝監物台樹木園

木づかい推進月間 平成23年10月1日～31日

木材は人と環境に優しい資材です。木を伐って、それを暮らしの中で使うことで、「植える」「育てる」「収穫する」「上手に使う」という森の健康なサイクルを作り出します。

木材の利用を推進することは林業および木材産業の活性化のみならず、森林の多面的機能の発揮や地球温暖化防止、資源循環型社会の形成に貢献します。

このため、林野庁では、平成17年度から国産材利用の意義を広め、利用を拡大していくための国民運動として「木づかい運動」を展開しており、平成23年度においても10月を「木づかい推進月間」として、国産材のさまざまな普及啓発活動を行うとともに、今年の国際森林年と連携した取り組みを実施することとしています。詳しくは林野庁ホームページをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/110930.html>

一層の林業機械化を進めなければならぬと思っています。

林業は植え付けに始まり、下刈り除伐などの保育を長年にわたる行い、成林後は伐採して木材を生産します。そして、伐採跡地に再び植林を行う循環的な

一つの課題となっており、今後は、

最後に、国産材の自給率向上のため私達国民が協力し、山村の所得向上を目指して間伐や作業道開設など森林の維持管理、コスト削減や国産材の競争力アップを目指し、森林資源を利用して、素晴らしい森にする事が我々の努めであると思います。

(鹿児島県南九州市在住)

新任挨拶

計画課長



かわの ひろゆき
河野 裕之

年齢 46歳
出身地 大分県
抱負 初めての九州局勤務です（プライベートでは四半世紀ぶりの九州入り）。九州国有林が日本の森林・林業再生の牽引役となるよう取り組んでいきたいと思えます。
よろしくお願いたします。

どうぞよろしく



昨年は、国際生物多様性年であったこともあり、業務の中で、生物多様性と森林のかかわりなどについて調べるうちに「カプトムシディフェンシン」という言葉に行き当たった。

「カプトムシディフェンシン」とは日本のカプトムシの幼虫の体内に存在する抗菌性ペプチド（アミノ酸の化合物）で、がん細胞のみ細胞毒性を持つことから副作用のない画期的な抗がん剤として、臨床利用に向けた研究が進められているという。

カプトムシディフェンシンと生物多様性

また、ボルネオではエイスの特効薬になるかもしれない植物が発見されたという。生物多様性とは簡単に言えば生態系、種、遺伝子のレベルでいろんなものがいっばい存在することのようだ。いっぱいあるからこそ人類はそこから多くの

オの植物の話はほんの一例だが、このような話を聞くと、生物多様性による恵みが人類の存続に関係してくるということがなんとなく理解できる。そして地球の生物の約8割が森林に生息・生育しているという。そうすると森林の危機は生物多様性の危機に繋がるといことになる。やはり森林は大切にし、守って行かなくてはならないのだ。

絶滅しても自分には影響ない、指導普及課長 石神智生

奈良県へ「山地災害対策緊急展開チーム」派遣 ～治山課山下 正設計指導官～

近畿地方を襲った、台風12号の記録的な大雨により、大規模な山地崩壊などが多数発生した奈良県への災害調査支援を行うため、9月26日から30日までの5日間、「山地災害対策緊急展開チーム」の一員として治山課山下正設計指導官が現地調査に従事しました。

この山地災害対策緊急展開チームには、九州森林管理局のほか北海道森林管理局・中部森林管理局・近畿中国森林管理局の治山技術者4名が派遣されました。現地では、奈良県職員とチームを組み、県が実施する災害関連緊急事業（治山・地すべり）の申請に係る調査測量などに対する技術的な支援を行いました。（担当 治山課）



各局から参加した「山地災害対策緊急展開チーム」のみなさん

人のうごき



台風12号による奈良県野迫川村の山腹崩壊状況

- 10月1日付林野庁長官発令
- 林野庁林政課管理官（兼林政課課長補佐（人事総括））
- 山元康則（総務部長）
- 総務部長
- 竹花祐治（林野庁管理課監査官兼職員・厚生課）
- 10月1日付森林管理局長発令
- 企画調整室企画調整係長
- 氏橋亮介（宮崎署）
- 宮崎北部署森林育成係長
- 梅木剛（経理課）
- 宮崎署森林官
- 阿部夏子（宮崎北部署）
- 経理課係員
- 中村英之（治山課）
- 林野庁出向
- 齋藤絵里（企画調整室）

財光寺南小学校でお届け講座

【宮崎北部森林管理署】日向市立財光寺南小学校5年生の児童72人を対象に、森林環境教育

「お届け講座」を行いました。最初に「シカと森林のカード」を使って、森をつくるゲームに挑戦。児童らはゲームを通じ、森林の現状とシカの害による森林被害の深刻さを学びました。その後、児童らは森林インストラクターの大野裕さんと岡崎和代さんの説明で校庭にある樹木の材幹や枝葉に触れたり、匂いを嗅いだりして木の名前や特徴について学びました。また、丸太切り体験では初めての児童も多く、一生懸命挑戦し、森林環境について学べた1日となりました。



ゲームを終え出来上がりを喜ぶ児童ら＝宮崎北部

した。財光寺南小学校では当講座は、9回目。今後も、森林の大切さや楽しさを児童らに伝えていきたいと思えます。

熊本南部森林管理署

【熊本南部森林管理署】環境省の絶滅危惧Ⅰ種で国の天然記念物に指定され、法律で採取を厳しく禁止されている「ゴイシツバメシジミ」の生態に関する学習会を水上村キャンプ場で行



クヌギはキノコの原木と解説する必要があります。キノコ原木のクヌギは、ぼう芽（脇芽）を育て15年程度で原木として利用され、里山の代表選手でした。

ドングリを拾ったところに行くと、翌年、再度拾うと行ったが全然無くて不思議だったことはありませんか。クヌギは2年かかってドングリになります。

クヌギ林は夏休みになると子供たちの虫取場（カブトムシ、クワカタ）になっています。

立ち木のクヌギに、蛾（ホクドウカ）の幼虫が穴を開け、入

い、地元の小学生4年生から6年生までの約20人が参加しました。講師には、九州大学名誉教授の三枝豊平名誉教授を迎え、ゴイシツバメシジミの幼虫が食べるシンシランの花や貴重な蝶の保護活動の重要性の説明があり、国内では、唯一山都町の内大臣峠と水上村のみでしか観察されないため、国有林が実施している保護管理業務の必要性を十分にアピールすることができました。



三枝先生の説明を聞く児童ら＝熊本南部

49 クヌギ (ブナ科)

がですか。

り口周辺を磨き、樹液を出させて餌となる虫を寄せています。そこにいろいろな虫が集まるのです。蛾の幼虫がカブトムシ、クワカタなどの大型昆虫を食べることはありません。

クヌギとクリの判別は相当にむずかしいです。葉の鋸歯の出方と葉裏の腺点を確認することで判別できます。クヌギは鋸歯の刺は、葉脈から続いて直線に突き出すように出ており、刺に葉肉が無く、葉裏には腺点（クリには黄色の腺点）がありません。樹木園の奥まった東側にクヌギとクリが隣同士にあります。葉の見分け方に挑戦してはいか



夏を過ぎると読書やスポーツという言葉を耳にする季節になる▲最近、知人とのひよんな会話から英語本を購入する羽目となったが、小生これまで「マンガ本」なるものを購入したことがない。巷では熊本出身の作者が描く、海賊たちが覇権を賭けて争う海洋冒険のマンガ本が話題のようであるが、ロングランには何か秘密が・▲なんとマンガには読者が次のページを読みたくなるように、めくるページの左下の最後のコマに、期待を抱かせるようなコマを使うテクニックがあるようである。専門用語で「引き」と言うそうであるが、その善し悪しが本の人気に影響するそうである▲スポーツの1つゴルフ。専門用語で「バーディ」は鳥名とのこと。「イーグル」は鳥名とのこと。グリーン上でのプレイヤーからの声も格別であろうが、森林での鳥の声も格別。是非、森林にもお出かけ頂きたい▲さてさて小生、「みどりの散歩路」に何度か登場させて頂いている。次回号のアクセス数に影響する本欄の「引き」。善し悪しがいささか気になっている。(た)